

平成29年度老人保健健康増進等事業

<地域包括支援センターによる効果的なケアマネジメント支援のあり方等に関する調査研究事業>

<株式会社日本能率協会総合研究所>

### (1) 事業の目的

ケアマネジメント支援について、社会保障審議会介護保険部会における議論では、地域包括支援センターが行うケアマネジメント支援について、「ケアマネジャーへの支援」にとどまるものではなく、ケアマネジメントが適切に機能するよう支援を行うことによって、利用者の課題解決を目指すものであるとした。

これを踏まえ、昨年12月にとりまとめられた介護保険部会意見書では、ケアマネジメント支援について、ケアマネジャー個人への支援から、地域の住民やサービス事業所等を含めた「地域全体をターゲットとする支援」への拡大を行うべきことが盛り込まれた。この「地域全体をターゲットとするケアマネジメント支援」を、地域包括支援センターが円滑に実施することを支援するため、ケアマネジャーの抱えている環境的課題や、ケアマネジメント支援の実態を明らかにし、それに基づいた支援の方策について具体的な手法をマニュアル化することを目的とした。

### (2) 事業概要

本事業における実施計画は以下のとおり。

①有識者・地域包括支援センターの現場に精通する職員による「委員会」・「ワーキンググループ」の設置と討議の実施。

②包括的・継続的ケアマネジメント支援業務のマニュアルの作成

ケアマネジメント支援における「地域全体をターゲットとする支援（「面」）」の支援について、各地域で取り組みを推進するために、参考となる具体的かつ実用的なマニュアルを作成した。

そのため、包括的・継続的ケアマネジメント支援の全体像やプロセスについて整理した。その上で、「面」によるケアマネジメント支援に取り組んでいる市町村での取り組み事例について、そのプロセスの中で行われている取り組みや工夫を体系的に分析・整理して、考え方、手法や留意点等、市町村や地域との協働・連携等について明らかにすることを旨とした内容とした。

③アンケート調査の実施

地域包括支援センターにおける環境整備（面の支援）の実施状況を明らかにするため、Webアンケートを実施した。調査結果を踏まえマニュアルにおいて、地域包括支援センターの現状を記し、地域包括支援センターにおける「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の困りごと」について、その解決策のヒントをQ&Aとして示している。